



▼開会式で選手宣誓する福島雅さん（緑町区・左）と塚本千晴さん（同区）



佐地区体育協会・有安区）、田上清太（竜野地区体育協会・中横田区）、田上輝雄（同・中横田区）、井上誠也（同・上早川一区）、山内亮一（乙女地区体育協会・津志田区）

▼スポーツ優秀者の部・田上元気（相撲競技・上早川一区・熊本農高3年）、小山田俊介（硬式野球・八丁区・九州学院高2年）、西山舞（陸上競技円盤投げ・芝原区・松橋高3年）

総合優勝は甲佐地区

平成22年度甲佐町球技大会

10月3日（日）平成22年度甲佐町球技大会が、町内各会場で開催されました。

甲佐町体育協会、町、町教育委員会が主催。10競技に約620人が参加しました。

総合成績は、4競技を制した甲佐地区が総合優勝を飾り、2位は竜野地区、3位は乙女地区でした。

●甲佐町体育協会表彰（敬称略）

▼スポーツ功労者の部・赤星富人（町体育指導員・上揚区）、高木英吉（グラウンドゴルフ競技・上豊内区）、松永満泰（バレーボール競技・横田区）、古田利武（バレーボール競技・大町区）、星本敏也（甲

「少年の主張」で奨励賞

甲佐中3年・赤星恵利香さん（上揚区）

9月25日（土）八代市で第32回「少年の主張」県大会が開催され、甲佐中3年の赤星恵利香さん（上揚区）が上益城代表として出場し、奨励賞を受賞しました。

同大会は、中学生の健全育成を目的に、県、県教育委員会などが主催。県内中学生3,272人が応募し、地区審査を経て13人が発表しました。

赤星さんは、『『ありがとう』の言葉で』と題して主張。修学旅行で訪れた沖縄県で、今も残る戦争の傷跡を見学して感じた世界の平和に対する思いについて訴えました。



▲「少年の主張」県大会で奨励賞を受賞した赤星さん



▲奥名町長から祝状を贈呈された溜瀧さん

100歳おめでとうございます

町内の100歳到達者8人に祝状などを贈呈

9月30日（木）本町での100歳到達者（明治42年4月1日〜明治43年3月31日生まれ）に祝状などが贈呈されました。

今年度の到達者は、堤タツエさん（中山区）、山下房子さん（上早川四区）、高見アヤさん（和田内区）、深見マサエさん（大町区）、田添フジ子さん（横田区）、溜瀧不美子さん（上早川一区）、松本弥三次さん（町内施設入所）、橋本マサカさん（同）の男性1人と女性7人で、合わせて8人（誕生日順）。

贈呈では、奥名克美町長が到達者の自宅などを訪問し、内閣総理大臣からの祝状と記念品の銀杯を伝達。また、町と甲佐町社会福祉協議会（奥名克美会長）からの祝金も贈りました。

献血功労団体への表彰

特別養護老人ホーム桜の丘・九州電子(株)

10月5日(火) 町役場副町長室で、献血功労団体に対する表彰の伝達が行われ、(株)綾友会特別養護老人ホーム桜の丘(谷田理一郎理事長)と九州電子株式会社LSIシステムセンター(宮越和之専務取締役)が、日本赤十字社熊本県支部長感謝状を贈呈されました。

この表彰は、5年以上継続的に献血に協力した団体や、献血の推進活動に功労があった団体に対して感謝状を贈呈。桜の丘は平成4年から、九州電子は平成6年から献血活動に積極的に協力されていることから表彰されました。



▲感謝状を贈呈された九州電子(株)(左)と桜の丘



▲つかみ取りしたアユを塩焼きにする児童たち

キャンプで思い出づくり

乙女小6年の学級PTAでキャンプを実施

9月18日(土)～19日(日) 井戸江峡キャンプ場で、乙女小学校6年学級PTA主催によるキャンプが行われました。

小学校の思い出づくりとして、同PTA(井芹結生代表)が企画。同小6年生児童や保護者など約45人が参加しました。

キャンプでは、緑川漁業協同組合(坂本猛組合長)から提供されたアユをいけすに放して、つかみ取り大会を実施。食事は、手作りカレーライスやアユを串に刺した塩焼きなどを調理して堪能。竹を使っての水鉄砲作りなどにも挑戦しました。

参加した保護者は、「子どもたちの輝いた笑顔が見れて良かったです。いい思い出になったと思います」と話しました。

薄黄色のかれんな花が満開

「麻生原のキンモクセイ」が開花



▲樹齢は約770年以上と推定され、幹回りが約3㍍、樹高が約18㍍ある国指定の天然記念物「麻生原のキンモクセイ」

国指定天然記念物で、本町の代表的な観光名所の一つである「麻生原のキンモクセイ」が、10月上旬に開花し、薄黄色の上品でかれんな花と独特のやさしく甘い香りが訪れた人々を楽しませました。

このキンモクセイは、麻生原の馬頭観音堂の境内にあり、昭和9年12月に国の天然記念物に指定されました。指定された名称は「キンモクセイ」ですが、品種としては、九州に自生し、薄黄色でやさしい香りを放つ花を咲かせる「ウスギモクセイ」です。

キンモクセイがある麻生原区(奥村大助区長50世帯)では、公民館活動の一環として「麻生原キンモクセイ保存会」を結成し、開花期間中に訪れた見物客にゆっくり観賞してもらえるように、お茶や手作りの総菜などで心尽くしの接待をしています。今年は、10月8日(金)～15日(金)に区民が交代で接待し、訪れた見物客におもてなしをしました。

御船町から来た50代の男性は、「近くに来たので、立ち寄ってみました。初めて見ましたが、キンモクセイの花がきれいで素晴らしい観光資源ですね」と花を見上げました。